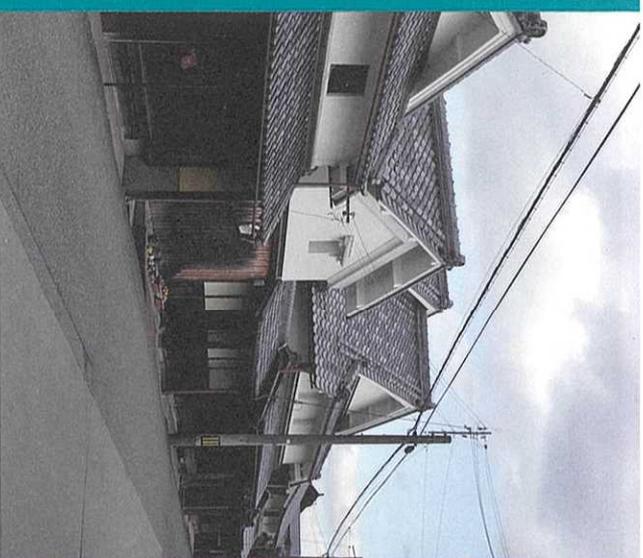


## ようこそ福住へ

国選定 丹波篠山市福住伝統的建造物群保存地区  
(宿場町・農村集落の町並み)

「福住」は、丹波篠山市の南東部に位置する地域です。中でも全長約3.3kmに渡る旧宿場町エリアは、福住、川原、安口、西野々の大きく4つの地域に分かれており、それぞれ個性豊かな歴史と町並みを有しています。このマップでは4地域の資源を紹介しながら、まちの持つストーリーを伝えていきます。

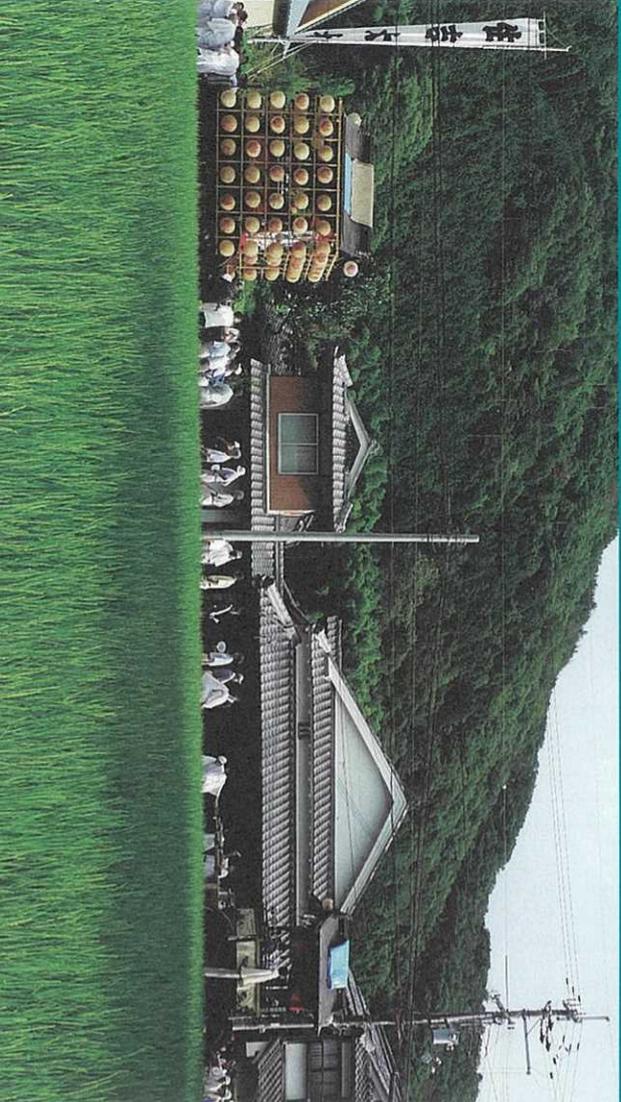
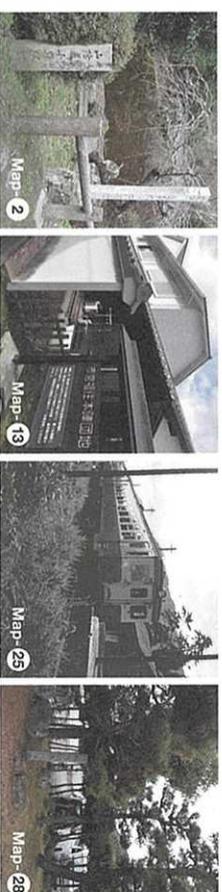


# 丹波篠山 / ふくすみ まちなみ ガイド

## Story 01 | 古代から続いた交通の要衝

古代には丹波国八郷のひとつ真継郷に属し、現在の小野新周辺に山陰道の駅家※のひとつとして、小野駅【2】が置かれた福住。また、篠山藩が西京街道沿いの「福住村」を宿駅に指定したことで、近世を通して宿場町として栄えます。福住は京、大坂との交通の要衝となり、本陣【29】・脇本陣【19】が置かれました。またその他にも篠山藩の「御蔵」跡(米蔵・麹蔵)【25】、それらを管理する役人の詰所も設置。大坂堂島から手旗信号で福住まで米相場が伝えられていました。しかし明治以後、鉄道・道路網の整備が進むことでその姿にも陰りが見られ始めます。1972年には篠山口駅～福住間の国鉄篠山線が廃線【29】となりました。

※古代日本の五畿七道の駅路沿いに整備された施設





## Story 02

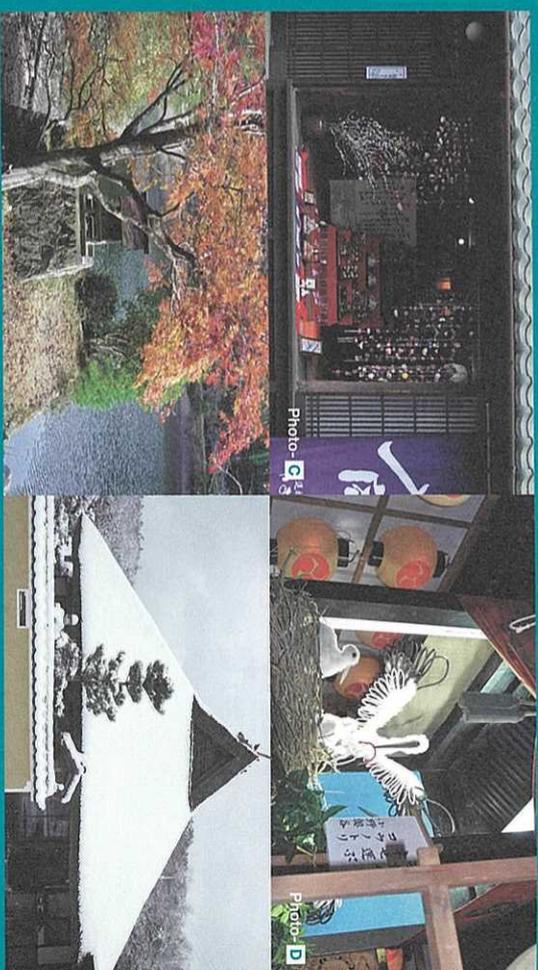
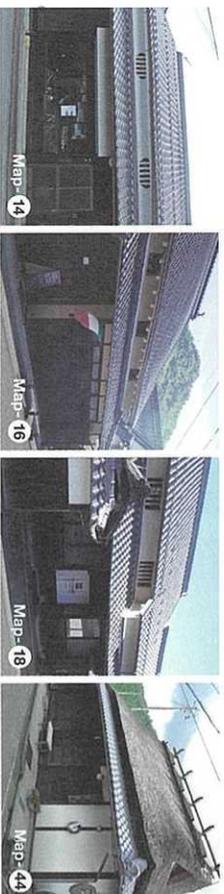
### 京とのつながり／豊かな街道文化

街道筋のほぼ中央に位置する住吉橋を境にして、西半分が宿場町、東半分が農家集落で構成された旧宿場町エリア。街道沿いには一里松【39】や道標、常夜灯【A】、そして屋号など街道らしい資源があちらこちらに残されています。住吉神社で行われる「水無月祭【B】」(7月最終土曜)は18世紀後半、造り物を中心とした祭礼から奥山の曳行を行う祭礼となりました。祭りでは、氏子集落から出た5台の山車が宮入りすると、境内で打込み囃子が奉納されます。奥山の形や巡行時の囃子は京都の祇園祭りをほうふつとさせ、打込み囃子は大阪の文楽からの影響がみられます。敷地内に立地する枯山水庭園「住之江の庭」(1966年)【39】も一見の価値あり。京都市内の庭園を数多く手がけた作家重森三玲の作品です。

## Story 03

### リノベーション進むまちの現在形

2012年12月、国選定重要伝統的建造物群保存地区に選定されたこと前後して、街道筋の古民家のリノベーションと利活用が進みました。それぞれ、新たな住民が移り住んで開業したイタリアンレストラン【19】、ホランテニアと協力しながら改修を進めたゲストハウス【14】に加え、元々地域に住んでいた住民が購入・改修をしてオープンした農家民泊【14】など、そのスタイルは多様です。



## 四季折々の風景

日々変化する福住の町並み。季節を覚えて訪ねればまた違った顔を見せてくれるはず。

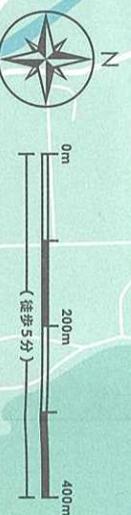
### 福住歳時記

- |        |                   |       |                   |
|--------|-------------------|-------|-------------------|
| 3月     | 丹波篠山ひなまつり【上部】     | 8月下旬  | 八朔祭(熊野新宮神社)【上部】   |
| 4月上旬   | 春の里山まつり(ささやまの森公園) | 11月上旬 | 秋の里山まつり(ささやまの森公園) |
| 7月最終土日 | 水無月祭(住吉神社)【表紙、中面】 | 2月上旬  | ふくすみ雪花火           |

## 福住へのアクセス

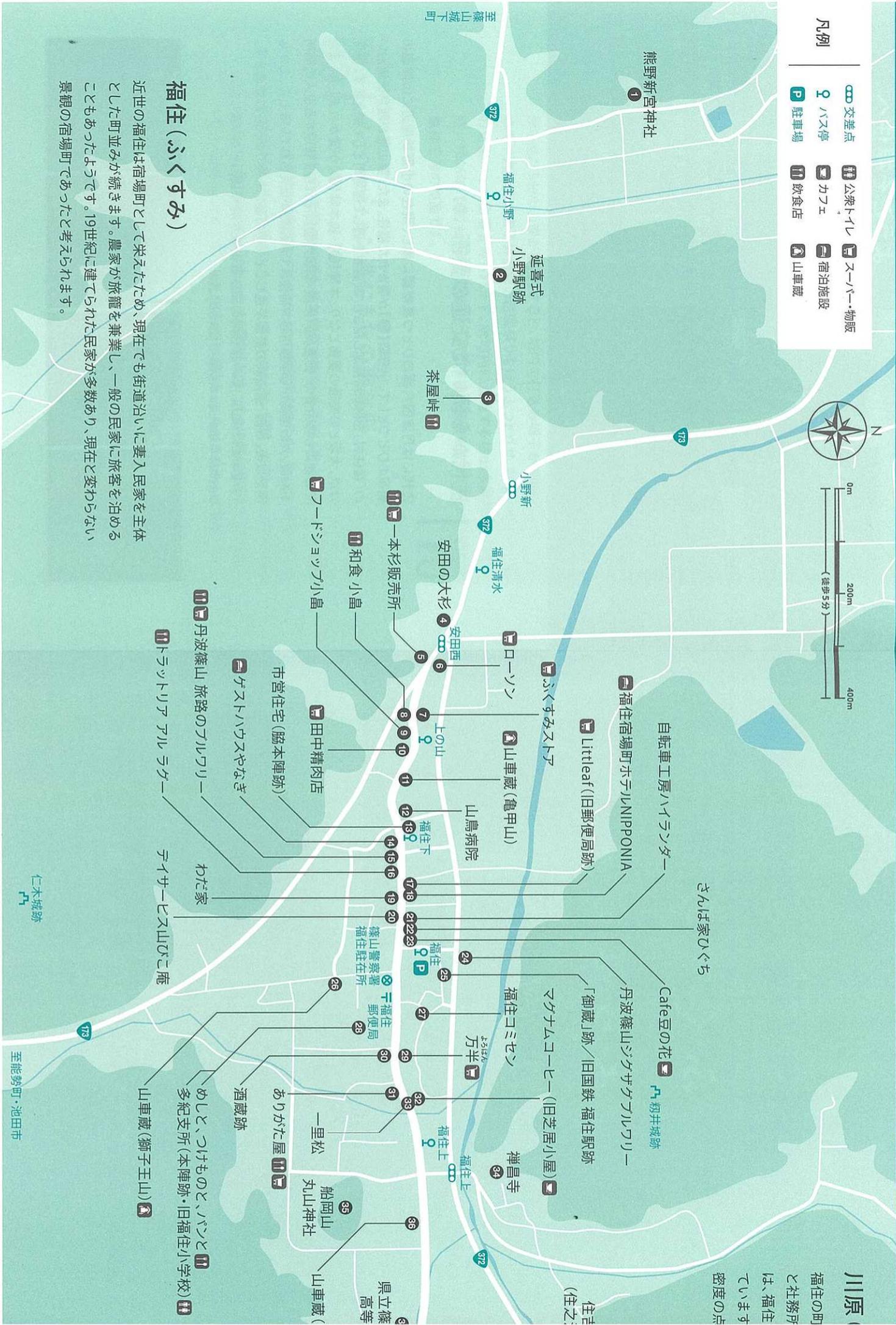


- JR福知山線「篠山口駅」  
→神姫グリーンバス「篠山営業所」行き→終点下車  
→乗り換え→神姫グリーンバス「福住」行き→終点下車
- JR山陰本線「園部駅」下車→京都交通バス園部線→「福住」下車
- 舞鶴若狹自動車道「丹南篠山口」C、東へ約30分
- 国道173号線・国道372線交差点東へすぐ
- 京都縦貫自動車道「亀岡」C、千代川Cから西へ約40分



凡例

⊕	交差点	🚏	公共トイレ	🚚	スーパー・物販
♀	バス停	☞	カフェ	🏠	宿泊施設
P	駐車場	🍽️	飲食店	🚶	山車蔵



### 福住 (ふくすみ)

近世の福住は宿場町として栄えたため、現在でも街道沿いに妻入民家を主体とした町並みが続きます。農家が旅籠を兼業し、一般の民家に旅客を泊めることもあったようです。19世紀に建てられた民家が多数あり、現在と変わらない景観の宿場町であったと考えられます。

川原  
福住の町と社務所は、福住に点在しています

- 1 熊野新宮神社
- 2 延喜式小野駅跡
- 3 茶屋峠
- 4 安田の大杉
- 5 フォーショップ小島
- 6 一本杉販売所
- 7 和食 小島
- 8 田中精肉店
- 9 市宮住宅 (脇本陣跡)
- 10 ゲストハウスやなぎ
- 11 丹波篠山 旅路のアルクリー
- 12 トラットリア アル ラグー
- 13 わだ家
- 14 テイサービス山びこ庵
- 15 山車蔵 (獅子王山)
- 16 山車蔵 (丸山神社)
- 17 山車蔵 (一里松)
- 18 酒蔵跡
- 19 ありがた屋
- 20 めしと、つけものと、パンと
- 21 多紀支所 (本陣跡・旧福住小学校)
- 22 山車蔵 (丸山神社)
- 23 山車蔵 (一里松)
- 24 山車蔵 (丸山神社)
- 25 山車蔵 (一里松)
- 26 山車蔵 (丸山神社)
- 27 山車蔵 (一里松)
- 28 山車蔵 (丸山神社)
- 29 山車蔵 (一里松)
- 30 山車蔵 (丸山神社)
- 31 山車蔵 (一里松)
- 32 山車蔵 (丸山神社)
- 33 山車蔵 (一里松)
- 34 山車蔵 (丸山神社)
- 35 山車蔵 (一里松)
- 36 山車蔵 (丸山神社)

かわら)

広みを抜け西京街道を東へ向かうと、住吉神社の社叢の大きな茅葺(トタン)の屋根が現れます。妻入民家と密に揃っておらず、道路から後退して主屋を配し民家の間に田畑が混在するところもあり、民家の間で福住中心部との違いが明確となっています。



西野々(にしのの)

西野々の町並みは、民家の間に田畑があり1軒ごとの間が空いている例が多く、妻入民家と平入民家が混在する町並となっています。幕末から明治にかけて建てられた民家が10棟近く現存しており、近世から近代にかけての村の雰囲気を与えています。



安口(はだかす)

安口の町並みは、東西にわかれており、西地区は山肌によって街村を形成しており、大火もなかったことから18世紀にまで遡ると考えられる民家が現存します。また、東地区では茅葺民家の現存する割合が他の地区と比べやや高く、街道に面する妻入の三角が近世・近代の雰囲気の色濃く残っています。

広域マップ

